もっと九州

青春のＧＳを…ＣＤ、ライブバーで

福岡市のショップとバンドマンがタッグ

昭和の一時期、熱狂的な人気を誇った「グループサウンズ」（GS）。そのヒット曲を集めたオムニバスCDを福岡市のCDショップが企画し、発売した。なぜ今、GSなのか？ 探ってみると、市内で夜な夜なあの時代の熱さを再現しているライブバーがあった。

（加茂川雅仁）

松本政樹さん（右）と印藤泉さん。グループ・サウンズを語ると笑みもこぼれる

あの頃へ「一瞬で戻れる」

CDを企画したのは、福岡市・天神の新天町商店街にある「ミュージックプラザ・インドウ」社長の印藤泉さん(71)。ザ・タイガース、ザ・スパイダースなど12バンドの27曲を収録し、「思い出のグループ・サウンズ～エメラルドの伝説～」として発売した。

GSは1967～69（昭和42～44）年にかけて大流行した。ビートルズやベンチャーズなど海外のロックバンドを模したスタイルで、若い女性が失神するなど社会問題化。中高生のコンサート参加を禁止する学校が続出し、ブームは急速に下火になったが、沢田研二や堺正章、井上順、萩原健一など数多くのスターが生まれた。

印藤さんは高校生の頃の出来事を鮮明に覚えている。先代の父親が経営していた時代にザ・タイガースがプロモーションで来たが、ファンが押し寄せて店に入ることができなかったのだ。「あんな熱気は見たことがない」と振り返る。

♪♪♪♪♪

演奏の合間にジョークを放って盛り上げる松本政樹さん

今回、GSのCDを企画するきっかけになった店がある。25年前、知人に初めて連れて行ってもらったライブバー「G.S. PUB Windy」（天神3丁目）。経営者でバンドマスターを務める松本政樹さん(71)との出会いがGSの世界へと導いた。

店は、松本さん率いるバンド「Ｗｉｎｄｙ」が客のリクエストを受け、ステージで歌う。レパートリーはGSをはじめ洋楽、フォークと300曲近い。その演奏はもちろん、合間に挟む松本さんの話術も楽しく、印藤さんは常連になった。

福岡市出身の松本さんは18歳でバンドを組み、28歳で脱サラしてライブバーを構えた。週末だけ仲間とバンド演奏を披露していたが集客は厳しかった。5年ほどが過ぎ、東京のライブレストラン「ケントス」を視察し、にぎわいぶりに驚いた。毎日生演奏を提供して活気を絶やさないのがこつだと教えてもらった。

一念発起し、自分たちも毎日2ステージを組むようになった。すると、夜ごとの盛り上がりに引き寄せられるように客は増え、名物店になった。フロアも倍に拡張。プロとして活動していた新メンバーも加わり、演奏にも磨きがかかった。

松本政樹さん率いる「Ｗｉｎｄｙ」の演奏に聴き入る店内

♫♫♫♫♫

2021年末、印藤さんと一緒に店を訪ねた。新型コロナウイルス対策で35席程度に抑えてある客席はほぼいっぱい。中高年が中心だが、会社の先輩に連れられてきた若者もいた。

ステージは「安奈」（甲斐バンド）で始まり、「ファンキー・モンキー・ベイビー」（キャロル）など、リクエストに合わせてさまざまな曲が歌われる。

途中、団体で来ていた会社員から、割り箸に挟まれた千円札のチップを受け取った松本さん。「素晴らしい会社やね」と褒め上げた後、札が2枚に見えるように折られているのを客に見せて「ばってん、これはケチくさか～」と博多弁で毒舌ジョークを吐いた。

会場はさらに沸き、次の曲では踊りだす人たちも。初めて訪れたという50代の女性は「こんなに楽しいとは思わなかった」と興奮気味に話し掛けてきた。

フロアの熱が最も高まったのはやはりGSだった。ドラゴンクエストを作曲したすぎやまこういちが手掛けた名曲「花の首飾り」（ザ・タイガース）。フロア全体がメロウな調べに耳を傾け、楽しんだ。

「気持ちは10代。ジュリー（沢田研二）になりきって歌うと、GSに熱狂していた自分に戻れる。お客さんも元気が出る」

ステージを終えて紅潮した松本さんの言葉に、印藤さんがうなずく。

「長引く新型コロナウイルス禍で閉じこもっている人は多い。ライブに来られなくても、CDで聴いてほしい。一瞬で青春時代に戻れます」

GSの代表曲には、希代のヒットメーカー筒美京平など、日本を代表する作曲家が手掛けた曲も多い。ロックサウンドと初めて融合した日本の音楽であり、J－POPの原点ともいえる。これからも歌い継がれていくことだろう。

36ページの解説本付きで発売された「思い出のグループ・サウンズ～エメラルドの伝説～」

思い出のグループ・サウンズ
GS

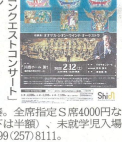
メモ　CD「思い出のグループ・サウンズ～エメラルドの伝説～」は、ザ・テンプターズ「神様お願い！」やザ・タイガース「花の首飾り」など、GSを代表する12バンドの27曲を収録している。2420円（税込）。各バンドの歴史や曲ごとの説明など、36ページの解説本が付いている。ミュージックプラザ・インドウ＝092(751)3140＝で発売中。オンラインショップ「ムジカインドウ」＝https://www.musicaindo.co.jp/でも購入できる。松本さん率いるWindyの活動については公式サイト＝http://www.gs-windy.com/＝が詳しい。

情報トピック！

佐渡裕指揮　シエナ・ウインド・オーケストラ「ブラスの祭典2022」　8日（火）午後7時、佐賀市日の出1丁目の佐賀市文化会館大ホール。第21回日本管打・吹奏楽アカデミー賞に輝いた同オーケストラと首席指揮者の佐渡さんによるコンサート。〝吹奏楽の父〟アルフレッド・リードの生誕100周年を記念して「アルメニアン・ダンス」、ジェイムズ・バーンズの大作「交響曲第3番」を演奏する。全席指定S席6000円など（高校生以下は各席1000円引き）。同館＝0952(32)3000。

シエナ・ウインド・オーケストラ首席指揮者の佐渡裕さん ©Takashi Iijima

ドラゴンクエストコンサート　12日（土）午後4時、鹿児島市与次郎2丁目の川商ホール。昨年9月に亡くなった作曲家・すぎやまこういちさんが楽曲を手掛けた人気ゲーム「ドラゴンクエスト」から、「天空シリーズ」（Ⅳ、Ⅴ、Ⅵ3部作）の曲を演奏する。指揮は鹿児島出身の海老原光さん、オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラの演奏。全席指定S席4000円など（各席高校生以下は半額）、未就学児入場不可。同ホール＝099(257)8111。



「ドラゴンクエストコンサート」のチラシ

イベントの開催　ご確認を　新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、イベントは中止・延期される場合があります。お出掛けの際は電話やネットでご確認ください。また、国や自治体の要請に従ってください。